○国土交通省告示第九百四号

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構において次のように道路の区域を変更したので、高速自動車国道法（昭和三十二年法律第七十九号）第七条第一項の規定に基づき、告示する。

その関係図面は、平成二十五年九月二十七日から三十日間国土交通省中国地方整備局において一般の縦覧に供する。

平成二十五年九月二十七日

国土交通大臣　太田　昭宏

路線名　中国横断自動車道岡山米子線

道路の区域

区間	変更前後別	敷地の幅員（メートル）	延長（メートル）
高梁市有漢町上有漢字石久呂畝七八六五番二から同市有漢町上有漢字中ザ七八五〇番二まで	前	最大 七九 最小 四五	九三
	後	最大 六七 最小 四五	

○国土交通省告示第九百五号

印西都市計画事業新住宅市街地開発事業千葉北部地区新住宅市街地開発事業に係る次の工区について工事が完了したので、独立行政法人都市再生機構法（平成十五年法律第百号）附則第四十条の規定により読み替えて適用される新住宅市街地開発法（昭和三十八年法律第百三十四号）第二十七条第二項の規定に基づき、告示する。

平成二十五年九月二十七日

国土交通大臣　太田　昭宏

工区番号

002－07－1、002－07－2、002－32－2、002－32－3、004－18－1、004－18－2、005－12－2、005－13、005－27－10、007－23、008－01－2、008－01－3、008－01－4、008－01－5、008－02、008－04－5、008－04－11、008－04－13、008－04－14、008－05－1、008－05－2、008－05－3、008－12－2、008－12－3、008－12－4、008－13－2、008－37－2、008－37－4、008－37－6、008－37－8、008－39－4、008－39－6、008－39－8、008－40－1、008－40－2、008－41、008－42、008－43、008－44－1、008－44－2、008－44－3、008－54－1、008－54－6、009－71－3、009－71－4、009－74－2、009－75－2、012－04、012－04－1、012－04－2、012－04－3、012－04－4、012－04－5、012－04－6、012－08－3、012－08－4、012－32－3、012－32－6、012－32－8、012－32－11、012－32－12、012－32－13、012－32－14、012－32－18、012－32－19、012－32－20、012－32－21、012－32－22、012－32－23、014－05、014－23、015－04－8、015－19－3、015－26－2、015－35－1、015－35－2、015－38－3、015－40－3、015－40－5、015－47、015－48－1、015－48－2、015－48－3、015－48－4、170－08－2、190－03－2、190－03－3、190－04、190－04－1、190－08－3、190－08－5、200－03－2、200－03－3、200－30、200－42、200－43、200－45－2、200－45－3、200－46、200－47－1、200－47－4、200－47－5、200－47－6、200－58－1、200－58－2、200－59、200－63、200－67、200－67－1、200－74、200－74－3、200－74－5、200－76－2、200－77－3、200－80－2、200－88、200－89－1、200－89－2、200－90、200－95、200－96、200－100、200－101、200－102、210－108、210－110、210－112、210－142－2、210－142－3、210－143－2、210－143－9、210－181－1、210－181－2、210－182、210－191、210－193、210－194、210－195、230－01－2、230－01－3、230－02－1、230－02－2、230－22、240－05－4、240－05－5、240－22－1

国会事項

衆議院

決定正本受領

九月二十日、最高裁判所長官竹﨑博允から、最高裁判所裁判事務処理規則第十四条後段により、九月十八日最高裁判所大法廷において決定があり、同日確定した遺産分割審判に対する抗告審の決定に対する特別抗告事件（平成二十五年（ク）第一三二号、第一三三号）についての決定正本を受領した。

参議院

臨時国会召集要求書送付

九月二十五日議長は、議員榛葉賀津也外九十一名から内閣総理大臣宛の次の臨時国会召集要求書が提出されたのでこれを内閣に送付した。

臨時国会召集要求書

通常国会閉会後三カ月、参議院議員選挙施行後二カ月が経過する中、東京電力福島第一原子力発電所汚染水問題が深刻化している。当事者である東京電力が状況をコントロールできていないと明言しているにもかかわらず、安倍総理は国際社会に対し楽観的なメッセージを発し、国内外で強い疑念を抱かれるに至っている。

また、安倍総理は、国会での議論を避けたまま、消費税について重大な政治判断を下そうとしている。さらには、交渉が佳境に入ったＴＰＰ、列島各地で多発する自然災害、シリア問題、司法に早急な改革を迫られている選挙制度等、国会として取り組むべき喫緊の課題は山積している。

よって、日本国憲法第五十三条及び国会法第三条に基づき、民主党・新緑風会、みんなの党、日本共産党、社会民主党・護憲連合、生活の党は速やかに臨時国会を召集するよう強く求める。安倍内閣は徒に臨時国会召集を先送りすることのないよう、重ねて要請する。

平成二十五年九月二十五日

代表者　榛葉賀津也
水野　賢一
山下　芳生
吉田　忠智
主濱　了
他八十七名

足立信也外八十六名連名

内閣総理大臣　安倍　晋三殿

臨時国会召集要求書送付通知

九月二十五日本院事務総長から衆議院事務総長宛、本院議員榛葉賀津也外九十一名から臨時国会召集要求書が提出されこれを内閣に送付した旨通知した。

人事異動

人事院

（事務総局総括審議官）　永長　正士

人事院事務総長尾西雅博帰朝につき人事院事務総長事務代理を免ずる（九月二十六日）

復興庁

（外務省大臣官房）外務事務官　今西　淳

復興事務官（統括官付参事官）に併任する

（経済産業省大臣官房付）経済産業技官　豊島　厚二

復興事務官（統括官付参事官付企画官）に併任する

福島復興局次長に併任する

（同）同　木野　正登

復興事務官（統括官付参事官）の併任を解除する

福島復興局次長の併任を解除する（以上九月二十四日）